

## ワーキンググループ（教育内容策定部会）における検討内容

開催日	検討内容
<b>【第1回】</b> 令和5年8月4日 ※3部会合同開催	◇全体説明 ○小中一貫教育について ○推進組織について ○スケジュールについて ◇座長及び副座長の決定 座長（藤中俊樹）、副座長（谷口結香） ◇山添村小中一貫教育基本方針について ○目指す子ども像について検討 →キーワード「へこたれない、しなやかさ、社会をよりよく」 →「自分のいる世の中をよりよくできる子ども」（暫定的） ※今後、具体的な話し合いを進めるの中で変更の可能性もある
<b>【第2回】</b> 令和5年9月6日	◇グランドデザインにおける発達段階期の表記について →学習面だけでなく、生活面においても前期課程と後期課程をスムーズにつなげていくためにも、5～7年生の時期は大切になる
<b>【第3回】</b> 令和5年11月15日	◇グランドデザインにおける発達段階期の表記について →学年区切りを「4-3-2」とする →6年生を支える5年生 →前期課程の最高学年として活躍できる6年生 →6年生を見守り導ける7年生
<b>【第4回】</b> 令和6年1月17日	◇カリキュラム（教育課程）について ○「山添村の小中一貫校に行きたい！」となるようなカリキュラムをどのように作っていくのか。 →オンラインによる授業形態 →子どもたちの得意を伸ばせる時間づくり →教員の専門性を生かせる授業づくり →失敗ができる場づくり →防災に関わる活動 →海外留学制度
<b>【第5回】</b> 令和6年2月28日	◇独自教科の在り方について ○子どもたちの得意を伸ばせる時間づくり →1～2年生：「空き時間」を使って基礎・基本の定着 →3～5年生：「家庭学習」で自学の習慣化を徹底 →6～9年生：「学習相談」を活用して自己成長 ○防災に関わる活動 →村全体で助け合えるような場に →既存のスキー学習や野外活動に代わる形だと実施可能 ○やまぞえ学（仮称）の在り方 →1～2年生「生活科」、3～9年生「総合的な学習の時間」に一貫性を →山添村で働く方々の「想い」に触れられる機会に →「地域を知り、キャリアを積み重ね、自己実現へ向かう」時間に